

- 背景 -

平成26年5月30日に、厚生労働省より、「鉛等有害物を含有する塗料や掻き落とし作業労働者の健康障害防止について」の通達が出され、鉛等の有害物を含む塗料の剥離作業について、その粉じん対策が厳格に求められております。

それらの剥離作業は、近隣環境への配慮の為、隔離措置された作業場となります。

隔離された作業場では粉じんが高濃度になる為、剥離作業は必ず湿潤化して、行わなければなりません。



有害物質を含む塗膜剥離作業には、剥離剤を使用した工法が有効です。

構造物用塗膜剥離剤 ペリカンリムーバーシリーズ (全6タイプ)

水系	「ペリカンリムーバーアクア」	中性タイプ
	「ペリカンリムーバーアクアDX」	アルカリ性タイプ
溶剤系	「ペリカンリムーバーDX」	標準タイプ
	「ペリカンリムーバーNX蛍光」	標準タイプに蛍光成分を添加したタイプ
	「ペリカンリムーバーECO」	エコタイプ (低臭ナフタレンフリー)
	「ペリカンリムーバーECO蛍光」	エコタイプに蛍光成分を添加したタイプ

特長 (水系)

1. 中性タイプと弱アルカリタイプがあり、塗膜種・環境条件により選定が可能です。
2. 非危険物 (指定可燃物にも非該当) の為、管理が容易です。
3. 増粘成分が配合されている為、液ダレしにくく、垂直面の塗布も容易です。
4. 乾燥抑制剤が配合されている為、夏期でも湿潤状態を維持し浸透を促します。

適用法令と塗装系への適用 (水系)

		アクア	アクアDX
外観			同左 (どちらも白色粘調液体となります。)
pH		中性	アルカリ性
適用法令	消防法	非危険物	非危険物
	労働安全衛生法	有機則	非該当
		特化則	非該当
	毒物劇物取締法	非該当	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)		非該当	非該当
塗膜剥離性	一般用	フタル酸系	○; 剥離可能 (4~12h) ※1
		塩化ゴム系	○; 剥離可能 (4~12h) ※1
		ポリウレタン系	○; 剥離可能 (12~24h) ※1
		エポキシ系	○; 剥離可能 (12~24h) ※1
		アクリル系	○; 剥離可能 (12~24h) ※1
	橋梁用	A塗装系※2 (フタル酸系)	○; 剥離可能 (4~12h) ※1
		B塗装系※2 (塩化ゴム系)	○; 剥離可能 (4~12h) ※1
		C塗装系※2 (エポキシ・ポリウレタン系)	△; 軟化可能 (12~24h) ※1
	その他	無機シリコン系	
		フッ素系 ガラスフレーク系	×; 剥離不可

※1・・・カッコ内の数値は、剥離剤塗布から軟化するまでの時間になります。
(軟化時間は塗料種、膜厚、環境温度により異なります。)

※2・・・橋梁用塗装系は「鋼道路橋防食便覧 (平成26年3版)」を参考にしました。

塗るだけで塗膜が浮き上がる

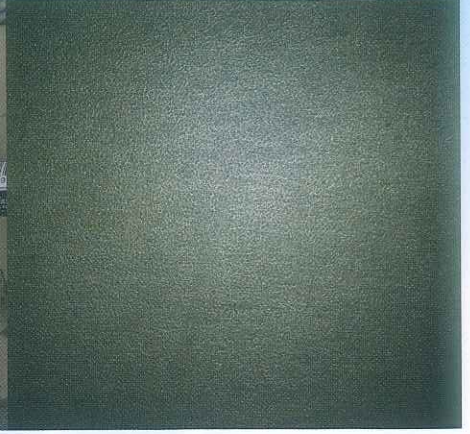
塗布後数時間経過状況



剥離作業状況



剥離完了



作業の効率化に、工期短縮に、作業環境の改善に大きく貢献！

EPP工法は、塗装面に塗布するだけで塗膜が浮き上がり、塗膜を短時間で剥離させることができる、全く新しい塗膜剥離剤を使用した画期的な工法です。下地の金属を傷めず、剥離作業の効率化、工期短縮がはかれるだけでなく、水性のため、環境にやさしく、人体にも安全な製品なので安心してご使用いただけます。



■ アクアインプラス

特長

■ 安全で安心

シンナーなどの溶剤を含まない水性一液塗料剥離剤を使用していますので、これまでの剥離剤と比較して、火災の心配もなく安全に作業できます。

■ 使い方が簡単

剥離剤を既存の塗装面に塗布するだけ。あとは自然に塗膜が持ち上がり、きれいに分離します。

■ 後処理が容易

プラスチックのようなダスト処理の必要がありません。また、使用用具は水で洗い流すことができ、処理が容易です。

■ 剥離時間が短い

剥離剤塗布後 6～24 時間程度で剥離が完了（塗装の膜厚や階層などで時間は異なります）。総合的な工期短縮がはかれます。

対応塗料

■ 対応塗料

- フタル酸樹脂
- シリコンアルキド樹脂
- フェノール樹脂
- 塩化ゴム
- 塩化ビニル樹脂
- エポキシ系樹脂
- ポリウレタン樹脂 ほか

■ 剥離困難な塗料

- 無機系ジンク塗料
- ガラスフレーク塗料

施工方法

剥離・除去したい塗装面に、剥離剤をエアレススプレー、ブラシ、ローラーなどで塗布します。



エアレスポンプ